



カナダと日本を結ぶコミュニケーションプレス

メイプル

東北

Vol.35

色彩のコントラストを楽しむ

『ロレンシャン高原』

カナダ東部、ケベック州にあるロレンシャン高原は、北米有数のリゾート地。春は森林浴、夏は避暑、冬はスキーやクロスカントリーなどが楽しめますが、なんといっても人気が高いのが、秋の紅葉。メイプルの赤や白樺の黄色、針葉樹の緑色といった色彩のコントラストの中を走り抜けるドライブは格別です。

平成20年度 定時総会 を開催しました

5月27日、江陽グランドホテルにおいて、平成20年度定時総会を開催しました。総会には、カナダ大使館グレッグ・フーラハン商務部参事官をお迎えし、会員約80名が出席しました。

総会は、八島会長の議事進行により、平成19年度の事業報告および決算報告、平成20年度の事業計画および事業予算について審議を行い、それぞれ原案通り承認されました。また、任期満了に伴い役員選任も行われ、八島会長が会長に再任されました。

総会終了後には、グレッグ・フーラハン商務部参事官から、「カナダと日本：食のつながり」と題し、カナダでの日本食の現状や食物の輸出入、カナダの農業などについてご講演を頂きました。



あいさつを述べる八島会長



講演を行うグレッグ・フーラハン商務部参事官

新役員 (敬称略)

会長	八島 俊章	社団法人東北経済連合会名誉会長・東北電力株式会社相談役	再任
副会長	新本 恭雄	セルコホーム株式会社代表取締役社長	再任
〃	小林 智夫	東日本興業株式会社相談役	再任
〃	鎌田 宏	株式会社七十七銀行代表取締役頭取	再任
〃	高橋 宏明	東北電力株式会社取締役社長	再任
〃	竹内 次也	株式会社仙台放送代表取締役社長	再任
〃	務台 猛雄	株式会社宮城テレビ放送代表取締役社長	再任
〃	鷲尾 幸司	株式会社ユアテック取締役会長	再任
監事	高橋 博	株式会社仙台銀行取締役本店営業部長	新任
〃	伊藤 裕造	株式会社東日本放送取締役社長	再任

平成19年度事業報告

1 定時総会および幹事会の開催

(1) 平成19年度定時総会

平成19年5月22日(火) 於：ホテルメトロポリタン仙台
約80名出席

(2) 幹事会

平成19年5月17日(木) 於：東北電力本店ビル

2 クリスマスパーティーの開催

平成19年12月12日(水) 於：ホテル仙台プラザ
約100名参加

3 カナディアン・カルチャースクールの開催

平成20年3月5日(水) 於：ホテルメトロポリタン仙台
在仙カナダ人ゲストによる講演&パフォーマンスショー 約40名参加

4 会員への情報提供サービス

(1) 機関誌の発行

平成19年10月および平成20年3月に
機関誌「メイプル東北」(33号、34号)を発行

(2) ホームページのリニューアル

<http://www.tohoku-canada.org/>

5 その他

(1) 会員への各種情報提供

(2) カナダ大使館との連携

平成19年度決算報告

収入の部

項目	決算(単位:円)
会費	2,757,000
特別会計(注)	743,000
その他	3,663
小計	3,503,663
前年度繰越	1,349,986
合計	4,853,649

(注)総会、クリスマスパーティー、
カナディアン・カルチャースクールの参加会費

支出の部

項目	決算(単位:円)
会議費	689,401
事業費	2,138,508
事務費	127,557
予備費	0
小計	2,955,466
次年度繰越	1,898,183
合計	4,853,649

平成20年度事業計画

- 1 定時総会の開催
平成20年5月27日(火) 於:江陽グランドホテル
- 2 クリスマスパーティーの開催
- 3 カナディアン・カルチャー
スクールの開催
- 4 会員への情報提供サービスの充実
- 5 大使館等に対する交流行事等への協力

TOPICS

女子ソフトボール カナダ代表が7月に来仙!!



7月25日から27日にかけて、日本、オランダ、カナダの3カ国による「女子ソフトボール北京オリンピック壮行試合in仙台」が、仙台市民球場で開催されました。

カナダチームは23日に来仙し、25日にはオランダ戦(5-0で勝利)、27日には日本戦(0-4で敗北)を行いました。

壮行試合に先立ち、東北日本カナダ協会では、カナダチームならびに日本、オランダの各チームに対し、

来仙歓迎と健闘の願いを込めて、八島会長名のレターを添えてミネラルウォーターをお届けしました。

カナダチームの皆さまからは、24日に行われた代表者会議の場で、当協会に対し感謝の言葉をいただいております。

なお、北京オリンピックでは、カナダチームは決勝トーナメントに進出したものの、オーストラリアに敗れ、残念ながらメダルには手が届きませんでした。

今年は「赤毛のアン」出版100周年にあたることから、仙台市出身で現在、静岡県にお住まいのフリーライター、奥田実紀さん(東北日本カナダ協会会員)に寄稿をいただきました。

Anne of Green Gables

今からちょうど100年前の1908年。
北米で『赤毛のアン(原題:アン・オブ・グリーンゲイブルズ)』という小説が刊行された。作者はカナダ女性作家、ルーシー・モード・モンゴメリ。

物語の舞台は、カナダの東端にあるプリンス・エドワード島。片田舎に住む初老の兄妹マッシュウとマリラが、施設から11歳くらいの男の子を引き取ることにするが、手違いでアンという女の子が来てしまい、大騒動に。送り返そうと思ったが、明るく素直なアンをマッシュウが気に入り、引き取ることを決める。アンは家庭や、仲のよい友だちを得、愉快的な事件を引き起こしながら、すくすくと成長していく。



ファンタジーもサスペンスもない、少女の成長物語がかえって共感を呼び、あっという間にベストセラーになった。現在まで、日本を含め少なくとも15ヶ国語に翻訳されている。小さな孤島だったプリンス・エドワード島は、アンのご郷としてその名を世界に広め、多くの観光客が訪れるようになった。

私は小学生の時からアンが愛読書で、大きさでもおもしろいアンのおしゃべりと、想像力を使って周りをすてきに変える技が好きだった。それが、大人になり、憧れのプリンス・エドワード島を実際に旅して物語の背景を目の当たりにした時、あまりのすばらしさに完全に打ちのめされてしまった。

アンが「世界でいちばんきれいな島」と言った自然の美しさ。描写ではわかっているつもりだった。しかし、紺碧の海、緑の草原のグラデーション、赤い道、小川のきらめき…そうした色彩の鮮やかなこと！まぶしいこと！海外旅行は何回か経験があり、美しい田舎は今までも見てきた。しかし、この島の自然美には、独特の何か秘められていると感じる。たとえようのない、不思議な美しさなのである。

それから、親切で素朴な島の人びと。都会ずれしていない、くったくの笑顔。たどたどしい英語にもじっと耳を傾け、困ったときには手をさしのべてくれる。おせっかいで、知りたがりな面もあるけれど、それはアンのお話にも描かれているように、愛情のあらわれゆえのことなのである。「この島ほどすばらしい場所はない」と人びとは言う。あふれんばかりの愛島心に、嫌味はまったくない。むしろ、島の人びとと一緒にあって「本当にきれいですてきな島ですね」と相槌を打っている自分がいる。

『赤毛のアン』のストーリーのおもしろさは、時代が変わっても色あせない。加えて、物語に息づくプリンス・エドワード島のすばらしい自然と、あたたかい人びとが、100年たった今も健在であるということ、それが私には奇跡に思える。だからこそ、『赤毛のアン』もプリンス・エドワード島も、特別なのである。

奥田 実紀 (おくだ・みき)

プリンス・エドワード島に1年半在住。主な著書に『「赤毛のアン」の島で』(東京書籍)、『紀行「赤毛のアン」』(晶文社)、『赤毛のアン A to Z』(東洋書林)などがある。



Letters to Maple”
(メイプルへのお便り)欄に
お便り募集!

『メイプル』にお便りをお寄せ下さい。
カナダに関することならなんでも結構です。
当協会までお送り下さい。

2008年9月発行
発行人/東北日本カナダ協会 The Tohoku Canada-Japan Society
URL <http://www.tohoku-canada.org/>
〒980-8550 仙台市青葉区本町一丁目7-1 東北電力(株) 広報・地域交流部内
TEL. 022-799-6061 (直) FAX. 022-227-8390